

平成29年10月定例教育委員会会議結果報告及び会議録（要点筆記）

日 時：平成29年10月24日（火）13：30～14：40

場 所：古賀市役所 第2庁舎 402会議室

出席委員：長谷川教育長 石橋委員 小山委員 松本委員 米倉委員 大賀委員

欠席委員：なし

事務局：清水教育部長 簗原教育総務課長 木部学校教育課長兼主幹指導主事 力丸生涯学習推進課長 桐原青少年育成課長 星野文化課長 池見学校給食センター所長 伊丹指導主事 教育総務課庶務係（松尾、民谷）

傍聴者：0名

付議事項：

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 諸報告
 - (1) 教育長報告
 - (2) 教育委員情報交流
・新任教員について
 - (3) 教育委員会報告
4. 議案

番 号	件 名	議決年月日	議決結果
第42号議案	教育委員会事務局及び教育機関の職員（県費負担教職員を除く）の人事について	H29.10.24	原案可決

5. 協議事項 なし
6. その他事項
 - (1) 各課（所属）等報告
 - (2) その他
7. 閉会

会議内容：以下のとおり

1. 開会
13時30分、議長が開会を宣言。
2. 教育長あいさつ
・台風の被害状況について。学校関係では古賀東小学校の木が2本倒れており対応しています。
3. 諸報告
 - (1) 教育長報告
(行事等)
・学校訪問、研究発表会への参加ありがとうございました。それぞれ学校が4月から取り組んできたもの、研究発表会については古賀東中学校は2年前から取り組んできています。

花見小学校は県の社会科研究会で県内の多くの先生たちに来てもらい、市内の子どもたちの様子、先生たちの授業力量を見ていただいた。子どもたちも先生たちも頑張ってくれていた。

- ・先週は青柳小学校100キロキャラバンがあった。天候が悪く、初日は一日中雨でした。私も青柳小学校から篠栗町の社会教育センターまで16.7キロを一緒に歩いた。
- ・10月12日、九州都市教育長協議会定期総会研究大会に出席した。政令市を除く115市の教育長が集まる研修会が年1回この時期にあり、今回は熊本県八代市で開催された。全体研修の後、3部会に分かれ、学校教育分野、社会教育分野、教育行政分野で報告がなされた。全体の講話では文部科学省から英語教育改革の動向について話があった。平成32年度新教育課程の実施に向け、時数をどのように確保するかなどの考え方が示されていた。来年は大分県別府市で行われる。
- ・10月19日、管内教育長研修会に出席した。今回は学力向上の取組にどのような努力をしているかについて、糸島地区、筑紫地区、糟屋地区、宗像地区から報告がされた。糟屋地区は新宮町の取組が発表された。

(2) 教育委員情報交流

石橋議長 本日の委員情報交流のテーマは、新任教員についてです。新任教員もご苦労されていることと思います。新任教員の現状やあるべき教員像、研修方法などご意見を聞かせてください。

小山委員 学校訪問をして、新任の先生だから実践力不足はあるかもしれないが、それを補っていかうとする意欲や熱意が感じられる。それを継続してもらうためには周りのサポートが大切だと思う。子どもや保護者にしてみれば、新任といっても頼りにされている。だからこそ、現場の現状にすぐに対応する力が一番求められているのではないかと思っている。新任の先生が実際何に困難を感じているのか、求めているのかを他の先生もくみ取ってもらい、対応できる環境を、先生たちの意識を高めながら進めていってほしいと思う。

石橋議長 新任の先生はいろいろな悩みがあるだろう。ベテランであればある程度解決がついていくだろうが、すべてが初めてのことばかりで悩み多き新任の先生ではないかと思う。自分の教員時代を考えた時、ものすごく業務量があり、新任研修もありうまくこなせない状況があった。新任の方がきちんとステップを踏めるような環境づくりは必要かもしれません。

大賀委員 クラス替えで新任の先生になったとき、子どもたちからは不安ではなく若い先生にあたったという喜びの声を聞きます。保護者も授業の内容を見ることができないので子どもの声でほとんど判断をします。このままクラスが楽しいという声が続けば安心ですし、授業中騒がしい、勉強ができないと言われれば不安になる。この不安が徐々にクレームにつながって、先生のモチベーションを下げてしまわないかということが心配です。今でも経験豊かな先生方のフォロー体制がしっかりなされているとは思いますが、新任の先生をフォローする体制は今以上に必要なのかなと思います。新任の先生が多くなるにつれて、経験豊かな先生方も忙しくて余裕がなくなるだろうから、教師でなくても雑務の補助ができるような体制があればいいのではないかと。保護者も新任の先生の良いところを見つけた気持ちで向き合う必要もあるのではないかと思います。一方的ではなく、保護

者と先生とともに子どもを育てるという気持ちが必要だと思います。

松本委員 今も初任者代替の先生はいらっしゃいますよね。

学校教育課長 初任者が出張している間、他の学級に授業を見に行く時などは学級が空いてしまうのでその間入ってもらって先生が県からひとり充てられている。週に8時間程度です。

松本委員 初任者の先生は子どもから学ぶしかない。子どもから学び先輩から学んで自信をつけていかななくてはいけない。子どもと一緒に成長する。失敗もあるかもしれないが、励ましや自信を持たせるための周りの先生からのサポートが大事だと思う。初任者の先生も肩ひじ張ってがんばらないかんということになると、心の病気になることもある。子どもと一緒に自分も成長するんだという気持ちでやってほしい。わからなくていいと思う。ここがわからんねと子どもと一緒に言い合える授業をして、みんなもわかった、先生もわかったというような授業ができたらいいい。上から教えるという授業ではなくて。初任者にしかできない授業があると思うし、学級の作り方もあると思うので、初任者の先生が教師としての自信を少しずつつけていけるような学校の雰囲気があればいいかなと思います。そのあたりは校長先生方をお願いしなくてはいけないことだと思います。

米倉委員 新任でも、特に小学校ではすぐに担任を持つことが前提で入ってくるので、担任として子どもと向かい合っていかななくてはいけない。覚悟を持ってやっていかななくてはならないが、最終的に本人の持っている人間性が大きい。その中で一生懸命学びながらやっていこうとか、自分の生きてきた分を子どもに返していく感じで体当たりしていくと子どもたちも反応するのだろうと思う。昨年英語の先生で他の職業から転身してこられた方がいらしたと思うが、子どもに向き合う姿勢、態度、自分が勉強しようとする姿勢。会社でもまれて身につけたものを子どもに返していかれると思う。講師としての長い経験がある人を早く教員にさせてやる仕組みも必要だと思う。新卒の方もそういうものを見習いながら身につけていくことが必要だと思います。

石橋議長 講師、一般企業を含め経験を積んだ方は多くの経験をされているから、指導力も培われていると思う。新卒の方は社会に出ていないから、そういう面ではギャップがあるかもしれない。新任の先生には情熱はあるが指導力がない。ベテランは指導力はあるが情熱が失われてきている。新任の先生の情熱に子どもたちはついていくのではないかな。私もそうだったが、若い頃に受け持った子どもたちと付き合いが続いている。指導力はなかったが、がむしゃらに指導してきたことで受け入れられたような気がしている。新任の先生も大変だろうが、情熱を失わずに頑張っていただきたい。指導技術もたくさんのごことを身につけていかななくてはならないが、教員としてのスタンスは先輩の真似をしていくことが大事だと思う。

他にご意見がなければこれで情報交流を終わります。

(3) 教育委員会報告

石橋議長 教育委員会報告をお願いします。

教育部長 古賀市議会第4回定例会の日程は11月30日から12月18日の予定です。教育部としては条例案件、補正予算を予定しています。

4. 議案

石橋議長 第42号議案、教育委員会事務局及び教育機関の職員（県費負担教職員を除く）の人事について、提案をお願いしたい。

教育部長 （議案朗読）

6ページをお願いします。市民部人権センターの宮本主事が学校教育課へ異動します。

石橋議長 ご意見はありますか。なければ議決することとしたい。

《第42号議案 原案可決》

5. 協議事項 なし

6. その他事項

(1) 各課（所属）報告

ア、教育部長

- ・平成30年度予算編成について、現在各課において予算編成作業を行っております。

イ、教育総務課

- ・7ページ、平成29年度学校施設整備の主たる工事について。今年度予定している工事はほぼ完了しております。あとは学校施設等長寿命化計画策定支援委託が残っており、これにつきましても3月の策定に向け、鋭意取り組んでいる状況でございます。
- ・市内小中学校における先日の台風21号の被害について報告します。今回の台風においては多少の雨漏りなどありましたが、全体的に大きな被害はありませんでした。ただ、古賀東小学校において高木が2本倒れましたので、昨日と今日で撤去作業を行っております。

ウ、学校教育課

- ・不登校児童生徒数ですが、全体的に前年に比べ少ない状況です。今後もスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、心の教室相談員等と連携して取組の強化を進めていきたいと考えております。
- ・青少年総合センター閉所に伴う市適応指導教室あすなるの移転先について。青少年総合センター施設が建築後37年経過し、老朽化も進んでおり、旧耐震基準で建築されているため、閉所、移転をさせることとなりました。あすなる教室の移転先は立地条件、利便性、学びの場の保障、通う子どもへの配慮等を総合的に検討した結果、旧玄海弁護士相談センターに決定しております。5年前までは弁護士相談センターとして使用されており、現在、敷地内は放置自転車置き場となっているため、しかるべき場所へ自転車を移して、今年度中にはトイレ、天井等の改修工事を行い、来年度4月から使用開始したいと考えており準備を進めております。
- ・特別な支援を要する児童生徒への適切な支援体制について。9ページをご覧ください。

特別な支援を要する児童生徒への支援の在り方について、古賀市として2点課題があると考えております。一つは特別支援教育コーディネーターを核としたケース会議や校内委員会がなかなか機能しきれていないという点、もう一つは就学支援委員会を年6回程度行っているが、はじめから支援委員会ありきという考えに陥りがちだということがあります。そこで支援を要する子ども、障害のある子どもが合理的配慮のもと、多様な学びの場で十分に教育を受けることができるよう、この資料を古賀市教育委員会版として昨年度末に作成し、今年度、校長会・教頭会・特別支援教育コーディネーターのための研修会等で周知をしたうえで、取組を進めているところです。その結果、保護者との面談を各学校で重ねながら、保護者の悩みに寄り添うことができ、子どもの最適な支援につながるようになってきております。

- ・ 8ページ、就学支援委員会の活動状況について。年6回程度、発達検査の結果や面談などをもとに就学支援委員会を行っております。年々ニーズは高まっている状況です。
- ・ 古賀東小学校と千鳥小学校の学校訪問について。古賀市教育委員会の学校訪問もあと2校となります。古賀東小学校は児童集会活動を参観していただき、意見交流、指導助言をすることとしております。千鳥小学校は、のびのび学習参観及び校内視察として、地域の方を活用した学習状況等を参観することとしております。
- ・ 教職員の研修状況は記載のとおりです。

エ、生涯学習推進課 なし

オ、文化課

- ・ 平成29年度古賀市立歴史資料館要覧、古賀市立図書館要覧を発行しました。昨年度の活動をまとめております。
- ・ 第3次子ども読書活動推進計画については、教育委員会で報告していたものを発行しております。

カ、青少年育成課

- ・ 11月26日に、第17回古賀市子どもわくわくフェスタをリーパスプラザにて開催します。

キ、給食センター

- ・ 台風の影響について、現在のところ給食食材の農産物については安定しているものの、今後、野菜の高騰が生じることもあるため注視しております。みかんについて、これまで古賀市のみかんを給食に提供してきているが、昨年度からみかんが不足し給食に提供できなくなっている。今年度も農協と話をしているが不足しているため給食に提供できないということ。福岡産、九州産のみかんも不足しているとのことで、今年度の給食への提供、来年度夏の冷凍みかんも現在のところ不透明な状況。今後、学校給食会や業者と打ち合わせをしながらできるだけ安く、そろえていきたいと考えております。

(2) その他

教育総務課長 (行事予定表の説明)

庶務係長 (12月定例教育委員会の日程調整)

石橋議長 12月定例教育委員会は12月20日13時30分とする。

7. 閉会

議長が閉会を宣言し、14時40分閉会した。